

以上約550種は、研究に必要な雌だけを見分けながら採るわけにはいかぬのでこれと思った飛来個体を一応生かしたままプラスチックケースに入れて持帰り、あとで雌を選り分けるときに、序でにメモしておいた種名をまとめたものである。目ぼしい種は展翅してあるが大部分は学生の解剖用や外国送りなど、他の用に廻してしまう。抱卵した雌は産卵するまで生かしておくので、最後にはすっかり鱗粉が剥げ落ちたり、翅がすり切れてしまったりする。私にとって三日月はいつでも採集に行けるところなので、却って一通りの標本が仲々揃えられない。しかし、分布を調べている人達にとっては少しでも情報が欲しいものだということは私自身よく承知しているので、標本を揃えてはいないが敢てまとめてみた次第である。

参考までに、高蔵寺で徹宵して採集した日時は次の通りである。

1983年：6月=6-7日, 7月=9-10日, 8月=1-2日,
8-9日, 9月=6-7日。

1984年：3月=29-30日, 4月=28-29日, 5月=9-
10日, 6月=5-6日, 27-28日, 7月=24-25
日, 9月=1-2日, 29-30日, 10月=27-28日,
11月=24-25日。

1985年：4月=25-26日, 6月=19-20日。

(S.24: Akito Kawazoe 豊中市)

県下の蝶数種の新産地

広畑政己

1. ミスジチョウ

本種は県下では採集記録の少ない種の1つでもあったが、越冬幼虫の調査によって近年数多くの産地が発見されている。特に播磨地域では僅かながら採集されているという程度だったが、調査の結果、北部には広く分布していることが判明している。最近では安富町の南部や相生市の三濃山で採集されたようで、ホシミスジが庭のユキヤナギで分布を都市部にまで広げているように、本種も庭のモミジをたよりに今後次第に分布を南部にまで拡大していくものと推測できる。新しく発見した産地は下記の通りである。また、浅田・徳岡の両氏より水上郡の記録を御提供いただいたので併せて報告しておきたい。

〈採集記録〉

宍粟郡山崎町土万	幼虫2頭	4-III-1984	広畑政己	
飾磨郡夢前町寺河内	幼虫2頭	11-III-1984	"	
水上郡春日町舟木	幼虫5頭	2-IV-1983	徳岡正己	
" "	国領	幼虫1頭	2-IV-1983	"
" "	市島町北奥	幼虫4頭	12-I-1984	浅田 卓

2. ヤマキマダラヒカゲ

一宮町福知溪谷にて本種を採集している。一宮町では小原、富士野に記録があるが、よく調査がされていないので、概知産地は極めて少ない。福知の記録は播磨地域では峰山につぐ南の記録である。

〈採集記録〉

宍粟郡一宮町福知溪谷	1♂	1-VII-1984	広畑政己
------------	----	------------	------

3. メスアカミドリシジミ

本種は県下中西部の山地に広く分布している。南部で低標高地にいくほど産地も少なくなり、その記録としては夢前町雪彦山、佐用町上石井などが南限の記録となっている。この度福崎町田口にて本種の卵を採集したので南限付近の記録として報告しておく。

採集したのは七種山山麓の田口で、七種川沿に残った一本の山桜(種不明)から3卵得ている。その近辺はほとんど植林されているか、雑木が伐採され、本種が生息するには好ましい環境ではないが、川沿に残された僅かな緑をたよりに、かろうじて生きながらえているという感じである。この記録は県下での南限の記録である姫路市林田町六九谷には及ばないが、それに継ぐ南の記録である。

また、千種町天児産に於ても4卵採集しているので併せて報告しておく。千種町の山林は伐採、植林がすすみ、林が残っているところが極めて少なくなっている。この天児屋でも、谷川沿にぼつんと残った数本のサクラで発生している。

調査に御協力いただいた近藤伸一、森下泰治、石井為久の諸氏にお礼申し上げる。

〈採集記録〉

神崎郡福崎町田口	3卵	4-X-1984	広畑政己
宍粟郡千種町天児屋	4卵	28-XI-1984	広畑政己

(S28: Masami Hirohata 〒671-22 姫路市)